

平成20年度ごみ減量月間（街頭キャンペーン） アンケート集計結果

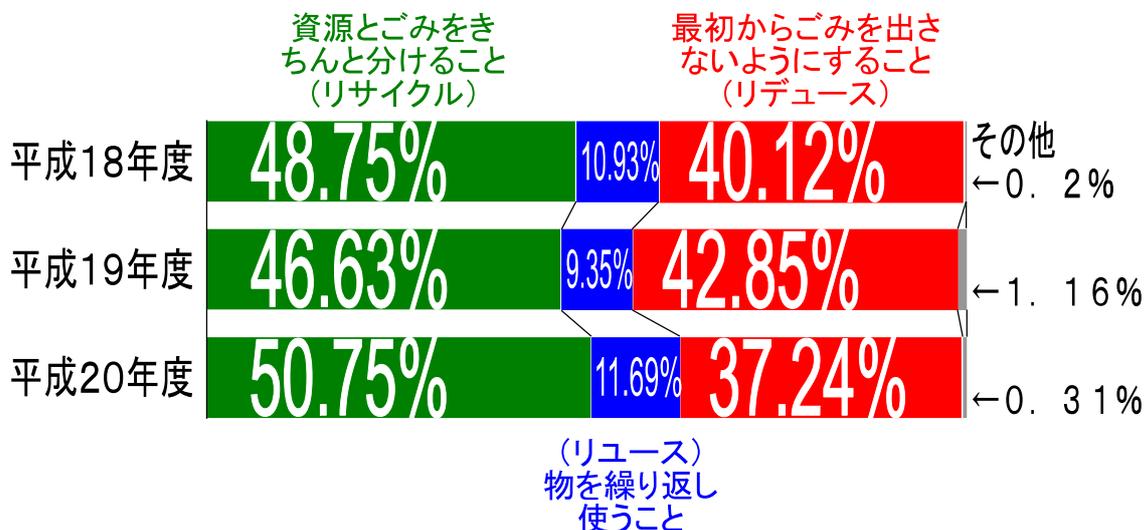
平成20年度においては、区内15会場にて街頭キャンペーンとしてアンケートの実施とマイバックの配布を行い、ごみの減量を呼びかけました。

「ごみの発生抑制」意識の浸透状況について（有効回答者数2,865）

問1 ごみを減らすために一番大切なことはどれだと思いますか。  
いずれか1つに○をつけてください。

- 1. 資源とごみをきちんと分けること (1,454件) 50.75%
- 2. 物を繰り返し使うこと (335件) 11.69%
- 3. 最初からごみを出さないようにすること (1,067件) 37.24%
- 4. その他 (9件) 0.31%

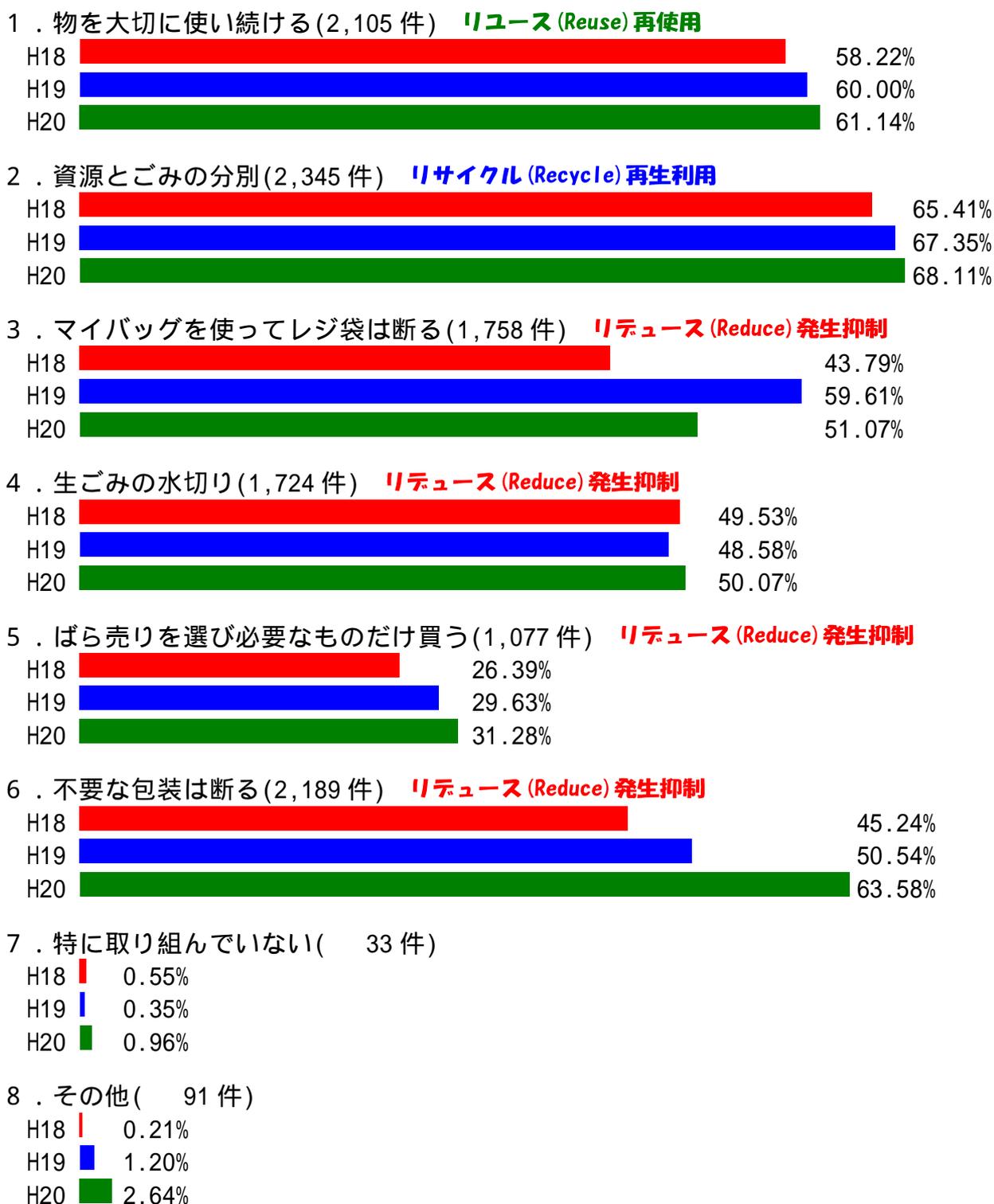
その他の意見（流通や生産の根本的な（政策含む）見直しと人々への認識）



依然として「資源とごみをきちんと分けること（リサイクル）」が一番多い結果となっています。ごみの減量に一番大切な「最初からごみを出さないようにすること（発生抑制）」について、今後も積極的に啓発していく必要があります。

ごみ減量の取組状況について（有効回答者数 3,443）

問2 あなたは、ごみを減らすために日頃から何か取り組んでいますか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。



その他の意見（生ごみは肥料として使う。みなだらしながないので注意します。）

全体的に徐々に取り組みが増加しているのが窺えます。しかし「マイバッグを利用してレジ袋を断る」人の割合が減少してしまっています。

今後の取り組みについて（有効回答者数 3,328）

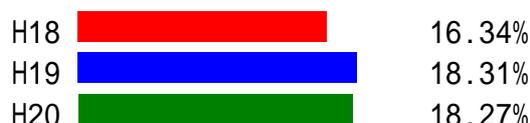
問3 ごみの減量やリサイクルを推進していくためには、どのような取り組み

みに重点を置いていく必要があると思いますか。

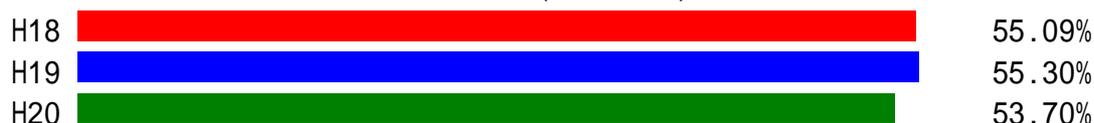
1．イベントやキャンペーンの実施(1,671 件)



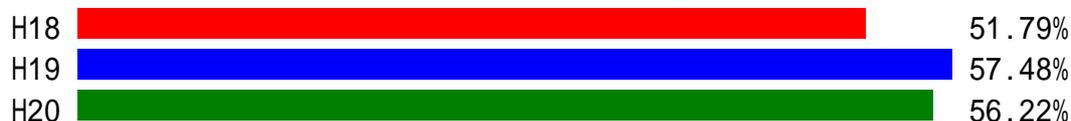
2．ホームページやFM放送などを使ったPR活動( 608 件)



3．事業者による自主的な活動の促進(1,787 件)



4．地域における自主的な活動の促進(1,871 件)



5．その他( 78 件)



その他の意見 各自が自覚を持つ

レジ袋の有料化

ごみの有料化

学校～幼稚園児の早期教育

マイバッグ利用者に特典を

リサイクルの場所を増やす

「事業者による自主的な活動の促進」や「地域における自主的な活動の促進」といった各自の自主的な活動の推進を望む声が引き続き高い割合となっているものの、「イベントやキャンペーンの実施」への期待も伸びています。

## アンケート集計結果のまとめ

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会では、ごみの発生抑制を中心としたごみ減量の自主的な活動の推進やキャンペーンの実施、チラシの配布によるPR活動などを行ってきました。

アンケートの結果、「資源をきちんと分別する」などリサイクルに対する意識は依然として高く、今後も「最初からごみを出さないようにすること」である発生抑制についての啓発活動が重要であることが窺えます。

また、自ら行っている取り組みについては、全体として伸びてきておりますが、マイバッグの利用については、昨年より8.67%減少してしまいました。

ごみの減量には「発生抑制」「再使用」「再生利用」の全ての項目での実施が必要です。

今後もあらゆる機会を通じて「発生抑制」に重点をおきつつも、「再使用」「再生利用」も含めたごみ減量の実践への意識啓発を図って行きます。

さらに、今後の取り組みに関しては「事業者による自主的な活動の促進」や「地域における自主的な活動の促進」を望む声も高いことから、引き続き事業者の皆さんへの意識啓発を進め、簡易包装やリサイクル可能な製品の製造・販売など自主的な取り組みを推進して行くとともに、区民の皆さんが身近にごみの減量に取り組むことができるマイバッグの利用促進や簡易包装、水切りの徹底による生ごみの減量など地域に根ざした活動や、地域における集団回収活動についても引き続き促進していきます。

そして、こうした区民・事業者の活動に対して、区は支援を行うとともに、あらゆる媒体を活用した呼びかけ、活動を充実させていくことで、区民・事業者の活動を支援し拡大を図って行きます。